

魚の城下町

羅臼町広報誌

みんなが主役のまち

7
2024

No. 325

町ホームページ



公式Facebook



公式Instagram



公式X(旧Twitter)



公式LINE



羅臼町新図書館オープン!

今月の主な話題

- ☑ 羅臼町の健康について 2・3
- ☑ 羅臼町の人口減少対策 4・5

みなさんの血圧は

大丈夫ですか？



昨年度羅白町では、令和6年度から始まる「羅白町健康計画」を策定しました。以前までの計画を見直す中で、ぜひ町民の方にもお知らせしたいことがあります。それは、若い年齢の人が脳卒中を起こし入院することや、もとの体の状態に戻れず仕事を失い、要介護状態になり施設に入るために町を出ていかざるを得ない状況があることです。

脳卒中の「卒」には突然という意味があります。「中」はあたるという読み方があり、字が示すとおり「脳が突然中（あた）る」です。脳卒中の最大の危険因子は血圧です。脳は体重の2%ほどの重さですが、たくさんの栄養や酸素を必要とするため、心臓が送り出した血液の15%を受け取ります。人間の進化の過程で、脳は発達し大きくなってきました。脳を守るために頭蓋骨があることで、限られた容積に多くの血管を走らせています。そのため脳の血管はと

ても薄い構造をしています。その薄さのために、血圧が高いことにとっても弱い臓器で、脳は140〜150くらいの血圧までしか耐えることができせん。高い血圧を放置することで、徐々に血管が傷み、破れて出血したり、血管が詰まったりします。

様々な研究から、高血圧は医療機関で測る「診察室血圧」で、上の血圧（収縮期血圧）が140以上、下の血圧（拡張期血圧）が90以上となっています。家庭で測る血圧では上が135以上、下は85以上となっています。血圧が高いほど脳卒中や心臓病、腎臓病を起こしやすいといわれます。血圧は高くても自覚症状がほとんどないため、血圧を測ったことがない人は全く気が付きませんし、高いことはわかっていても「何でもない」と思う人もいるでしょう。

血圧は重症度からも分類され、図1のようになっています。

血圧とは…

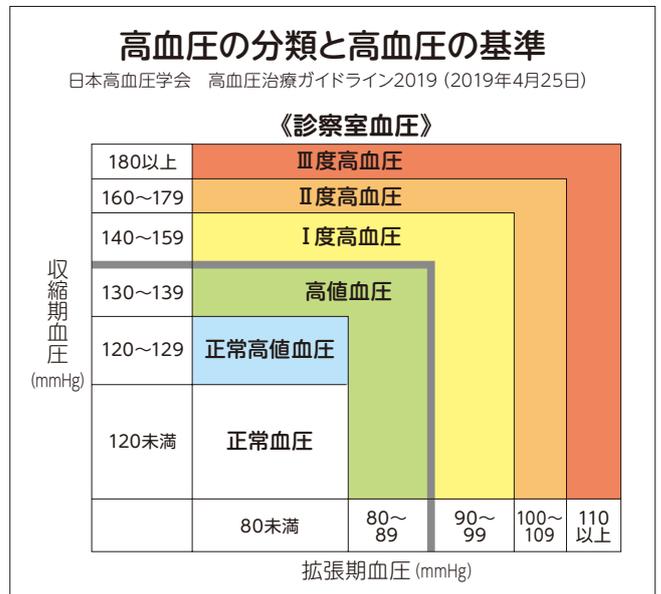
血流が流れていくときに「血管の壁を押しやる力」のことです。

- ① 「収縮期血圧（心臓が収縮して全身に血液を送り出された瞬間の血圧）」
- ② 「拡張期血圧（心臓が拡張して血液が戻ってくる時の血圧）」

収縮期血圧と拡張期血圧はそれぞれ独立したりスグです。

収縮期血圧と拡張期血圧は異なる分類に属する場合には、**高い方の分類**に入れます。

《図1》



令和4年度の羅臼

町の健診結果を見ると、脳や心臓病を起こしやすいといわれている、上の血圧が160以上または下の血圧が100以上の人が45人と、健診受診者の13.9%いました。北海道が6.3%で、道内の市町村の中で4位です。さらに上の血圧が180以上または下の血圧が110以上の人は12人、健診受診者の3.7%です。北海道は0.8%なので約4倍という多さです。12人のうち血圧の薬を飲んでいない人は8人です。血圧は変動することを守っています。1回の測定で高血圧と診断されるといふことはないかと思いますが、継続して血圧測定をする中で平均を出してもらい、それがこのような高い数値であれば血管が傷んでしまうのも無理がありません。

血圧に関する健診の結果《令和4年度》

| | Ⅱ度高血圧の割合〔A〕 | Aのうち薬を飲んでいない割合 | Ⅲ度高血圧の割合〔B〕 | Bのうち薬を飲んでいない割合 |
|-----|-------------|----------------|-------------|----------------|
| 羅臼町 | 13.9% | 4.6% | 3.7% | 2.5% |
| 北海道 | 6.3% | 3.3% | 1.2% | 0.8% |

「一生薬を飲み続けなくちゃいけないんでしょ

う？」とよく言われます。「このような思いが、血圧が高くても薬を飲まない理由になっていると考えられます。血圧を調整する働きが不十分になっているのを、薬が助けてくれます。血圧が下がることで副反応が起こることもあるので、医師とよく相談することも必要です。」

脳卒中と介護

保健・医療・介護等の状況を分析したところ、介護保険において若い年代の人が脳卒中により要介護状態になっていることが分かりました。

40〜50歳代の働き盛りに脳卒中が起こり、入院やリハビリ等の医療を経ても麻痺による運動の障害や言語障害、しびれなどの感覚の障害など脳機能の障害が残ることもあります。自力での生活が難しいと介護申請をして認定を受け、介護サービスを利用することもでてくるかもしれません。

仕事を失い、生活費が絶たれます。中には子育て中の人もいるでしょう。家庭では自分子どもや、高齢の親に介護を頼むことになるかもしれませんが、障害が重度に残り、寝たきりになったり、在宅での生活が難しい場合は施設を利用することもあります。羅臼町に利用できる施設がなければ、住み慣れた町を離れざるを得ない

場合もあります。脳卒中を予防するために何ができたのでしょうか。

要介護認定を受けた若い人は、ほとんど健診を受けていませんでした。そのために、体に起こっていた変化を知らず、予防できた時期がいつだったのかわかりません。普段から血圧を測っていたのか、薬は飲んでいたのか、健診を受けていたらどんな所見が出ていたか。脳卒中になった人は自分でもわからないうちに倒れたかもしれません。

何回もこのような機会に町民のみなさんに声をかけさせていただきますが、ぜひ健診を受けて自分の体の状態を知ってください。自分が持っている病気の原因となるリスクを確認しましょう。「何か見つかること怖いから健診を受けたくない」と言われることもあります。放っておくほうがよっぽど怖いことが起こる可能性があります。自覚症状が出てからでは遅いことも多いです。国民健康保険の加入者は無料で「特定健診」を受けることができます。健診後は生活習慣病発症のリスクをどれだけ持っているか、リスクを減らすにはどうしたら良いかなどを保健師や管理栄養士、歯科衛生士が個人に合わせたサポートします。自分や家族のために健診を受けましょう。

【お問合せ先】保健福祉課 TEL87-2161

羅臼町の人口減少対策

第2期羅臼町総合戦略

～人口の将来展望～

今、日本全体で大きな問題となっている人口減少・少子高齢化（以降、人口減少問題という）に対し、羅臼町においても人口減少問題に起因する各種課題への対応を図ってきています。今回は羅臼町が行っている人口減少問題に対する各施策、また羅臼町が目指すまちの姿を令和3年4月に策定した「第2期羅臼町総合戦略」から紹介します。

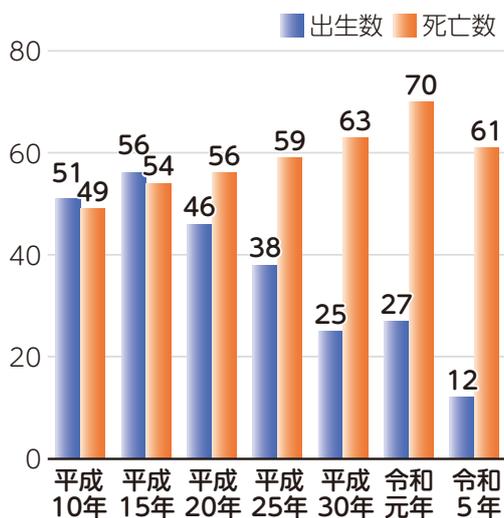
羅臼町の人口減少の現状

人口が減少するのには、「自然減」と「社会減」の2つの要因があります。

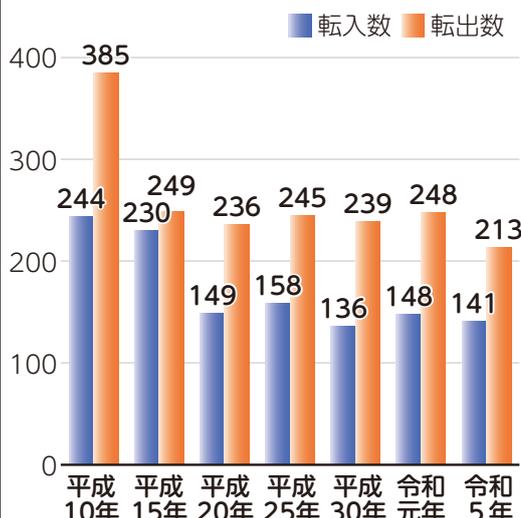
「自然減」とは、生まれた赤ちゃんよりも亡くなった方のほうが多くなることです。「社会減」とは、転入してくる人よりも転出していく人のほうが多くなることです。

羅臼町の場合、平成17年までは出生数が死亡数を上回っていましたが、平成18年から出生数よりも死亡数が上回る自然減がはじまり、それが令和5年現在まで続いている状況です。また、基幹産業である漁業の低迷の影響などから町外に活路を求める人たちが多く、社会減の現状にあり、少子高齢化が進行しています。

羅臼町の出生数・死亡数(自然増減)〈表1〉



羅臼町の転入数・転出数(社会増減)〈表2〉



(羅臼町町勢要覧よりデータ引用)

第2期羅臼町総合戦略期間の数値目標

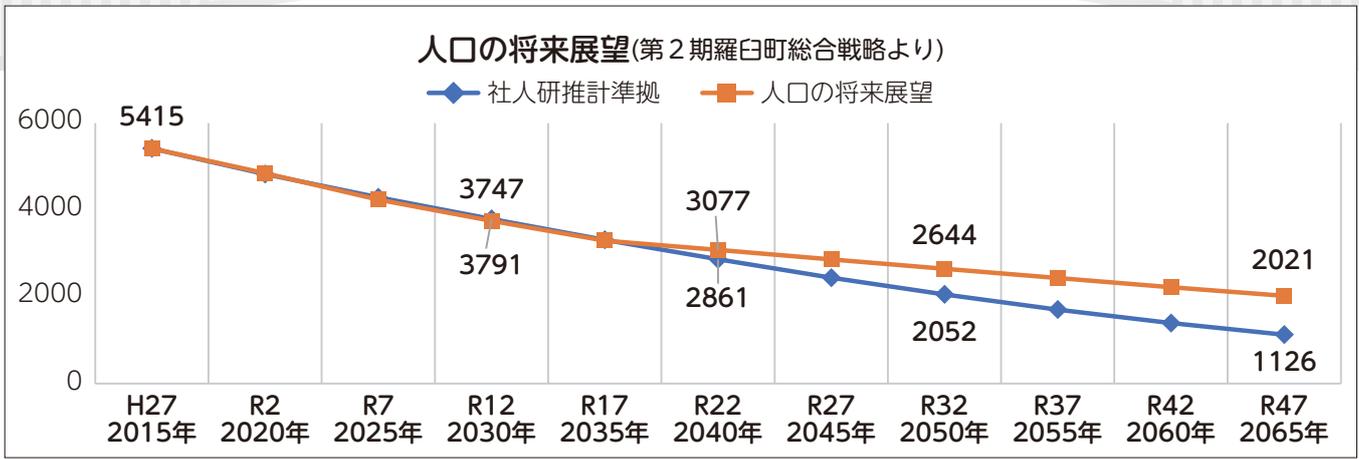
- 合計特殊出生率平成27年度（2015年度）1.72を令和7年度（2025年度）まで維持
- 令和7年度（2025年度）の総人口4,235人を維持

令和47年(2065年度)までの数値目標

- 合計特殊出生率を令和27年度（2045年度）1.80までに段階的に上昇させ、その後維持
- 令和47年度（2065年度）の総人口2,021人を維持

(第2期羅臼町総合戦略より引用)

2065年の羅臼町の人口は1,126人と推計されており（国立社会保障・人口問題研究所）、地域経済の縮小による様々な基盤の維持がより一層困難になることが推測されることから、羅臼町の将来展望では、転出超過状況にある人口移動の段階的な改善を図り、2065年度で人口2,021人の維持を目指すこととしました。そのためには社会増・自然増を目指した施策を同時に進めていくことが重要であるとして、地域における安定した雇用の創出と地域の活性化を図るため、若者の雇用の場の確保と合計特殊出生率の上昇、若い世代が将来に希望を持つことができるまちづくりを推進することとしています。



第2期羅臼町総合戦略は、羅臼町ホームページからご覧いただくことができます！

更に詳しくご覧になりたい方は下記URLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.rausu-town.jp/pages/view/303>



まちづくり総合計画



第2期羅臼町総合戦略

第2期羅臼町総合戦略では、既存産業の魅力化と新規産業の創出や企業誘致を最重点として取り組み、若い世代が結婚・出産・子育てに希望が持てるまちづくりを進めます。人口2,021人でも幸福感を持つことができるまちを目指して、今後も各施策に取り組みまいります。

「暮らしたい・創造したいをかなえるまち」

第2期羅臼町総合戦略の目指す姿

基本目標 1

若い世代が安心して働ける魅力ある産業の振興

- 地域経済を支える漁業の推進
 - ・ふるさと納税（返礼品）の推進
 - ・知床らうすブランド認証品制度の推進
 - ・水産資源の増養殖に係る実証試験及び研究
- 既存産業支援と新規産業の創出
 - ・水産業、酪農業など第一次産業の安定経営に資する支援
 - ・企業誘致と新企業の参入による雇用の創出
 - ・地域産業活性化補助 など

基本目標 2

知床羅臼町の魅力を活かした移住、定住の促進

- 交流人口拡大事業
 - ・旅行代理店等への観光PR
 - ・国内各学校への修学旅行誘致活動
 - ・体験プログラムの開発
- 移住・定住対策の推進
 - ・就業体験付き等の移住体験事業
 - ・羅臼町奨学金返還支援事業
 - ・地域おこし協力隊の活用
 - ・空き地・空き家バンク事業 など

基本目標 3

結婚・出産・子育てをしやすい環境と未来を担う子どもたちの教育環境の整備

- 結婚・出産・子育てに対する支援
 - ・妊産婦健診・産後ケア事業
 - ・子育て世代包括支援センターでの相談事業
 - ・園児・児童・生徒の医療費無償化
- 魅力ある教育環境の整備と時代を担う子どもたちへの支援
 - ・幼小中高一貫教育による知床学の推進
 - ・生徒や保護者から選ばれる高校づくり など

基本目標 4

若い世代が主体となった知床羅臼みらいづくりの推進

- まちづくり活動の支援
 - ・いきいき地域提案型事業
 - ・Kプロジェクト（アンダー60創造会議、オーバー60協力隊、未来創造事業）
- 社会基盤整備
 - ・水道・温泉の安定供給施策の検討
 - ・ゼロカーボンシティの推進
 - ・地域公共交通計画の策定 など

【お問合せ先：企画財政課 TEL 87-2114】

がん検診を受けていますか？

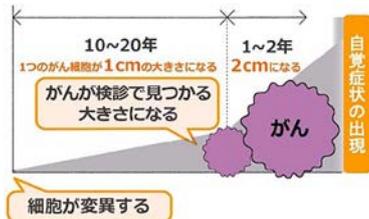


がんは日本人の死因の第1位であり、生涯のうちに2人に1人ががんに罹患するといわれています。羅臼町においても国と同様に死因の第1位はがん（R5年21.3%）となっており、今後も高齢化の影響を受けてがんによる死亡等の増加が予測されます。

そのため町では、科学的根拠に基づいたがん検診を実施し、がんの早期発見・早期治療によりがんによる死亡が増加しないよう取組を進めています。がんは、ある日突然発症する病気ではなく、年数をかけてがん細胞が細胞分裂を繰り返し、がんとなります。がんは大きくなるまで自覚症状が出ないのが特徴です。症状がなくても定期的ながん検診を受ける必要があります。

町では、科学的根拠に基づいたがん検診を町民の皆様が受診しやすいような対策の1つとして検査費用の助成を行っております。

今年まだがん検診を受けていない方は、受診されることをお勧めいたします。



国が推奨しているがん検診の対象年齢と検診間隔

| | | | | |
|---|--|---|---|---|
| <p>胃がん検診 胃部X線検査 胃内視鏡検査</p> <p>対象年齢：50歳以上の男女 受診間隔：2年に1回</p> <p>※当分の間、胃部X線検査については、40歳以上、年1回の実施もできます。</p> | <p>大腸がん検診 便潜血検査</p> <p>対象年齢：40歳以上の男女 受診間隔：年1回</p> | <p>肺がん検診 胸部X線検査</p> <p>対象年齢：40歳以上の男女 受診間隔：年1回</p> <p>※高リスク群には喀痰細胞診も併用できます。</p> | <p>乳がん検診 マンモグラフィ</p> <p>対象年齢：40歳以上の女性 受診間隔：2年に1回</p> <p>※視触診検査も併用できます。</p> | <p>子宮頸がん検診 細胞診</p> <p>対象年齢：20歳以上の女性 受診間隔：2年に1回</p> |
|---|--|---|---|---|

【お問合せ先：保健福祉課 TEL87-2161】

子育て情報ひろば ~すくすく~

ありんこは月～金
9:30～11:30まで
火・水は午後も開放！



ミニミニ運動会をおこないました！0歳～幼稚園就学前のお子さんを対象に室内で楽しみました！お母さんに促されながらハイハイしたり、ゴール目指して走ったりと頑張りましたよ！

♪8月・9月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳～3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳～3歳対象)

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| 8月2日(金)すくすく広場 | 8月5日(月)ママの日♪ | 8月7日(水)ありんこ広場 |
| 8月14日(水)ありんこ広場 | 8月16日(金)お盆休み | 8月21日(水)ありんこ広場 |
| 8月23日(金)絵本読み聞かせ | 8月28日(水)運動遊び | 8月30日(金)のびのび広場 |
| 9月2日(月)ママの日♪ | 9月4日(水)おまつりごっこ | 9月6日(金)すくすく広場 |
| 9月11日(水)かかわり遊び | 9月18日(水)羅臼幼稚園訪問 | 9月19日(木)発達支援事業 |
| 9月20日(金)絵本読み聞かせ | 9月25日(水)春松幼稚園訪問 | 9月27日(金)のびのび広場 |

- * 8/16(金)、9/19(木)はお盆と発達支援事業で使用するためお休みになりますのでご了承ください。
- * 9/4(水)のおまつりごっこは事前申し込みが必要ですのでお問い合わせください。
- * 毎週火・水・木曜日の13時～16時半まで一時預かりを行っています。事前にお申込みください。
- * お問合せ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 TEL 88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

スキンケアで 明るく美しい肌を 手に入れよう！



皮膚科外来は、毎月第2・第4週の水曜日にあります。当診療所皮膚科外来では、一般的な全身の皮膚症状の診察、湿疹、水虫、火傷などの治療の他、シミが気になる方に内服治療、イボ・ほくろなどのできものを除去する治療、眼瞼下垂が気になる方にはボトックス治療も行っています。

以前から当院の皮膚科外来では患者様から「何かお肌に良い化粧品は置いていないの?」「シミが気になります」などのお声が聴かれていました。患者様の声をもとに、当院でもこの度**ドクターズコスメ（スキンケア化粧品）**を診療所として取り扱うこととしました。

ドクターズコスメの特長

- ①皮膚科の専門医が開発に関わっているので、一般的なスキンケア化粧品に比べると肌への効果を実感しやすい
- ②肌トラブルに効果が期待できる成分を高濃度に配合しているものが多い

そのため特定の肌トラブルに悩んでいる方には特におすすめです！

実際に使用した方からは「使用前より確実にシミが薄くなっている!」「肌が白くなりきめも整ったようだ」というお声も頂いています。

当診療所では8月皮膚科外来から取扱い予定です。トライアルセットからお試ししていただくのもオススメです。

健康保険が適用される「保険診療」と保険適用外で全額実費となる「自費診療」の2種類があります。自費診療は当院では行っておりませんので保険診療内で対応させていただきます。

皮膚の気になるお悩みを皮膚科で相談してみませんか?ご予約の上、受診していただくようお願いいたします。



お盆休みのお知らせ

8月16日(金)～8月18日(日)はお盆休みのため休診とさせていただきます。薬切れに留意し診療予約をお願いいたします。

【予約・お問合せ先：知床らうす国民健康保険診療所 TEL87-2116】



★ オープン記念式典&オープニングイベントに たくさんのご来館ありがとうございました！

羅臼町図書館のグラ
ンドオープンを記念し
て、令和6年6月2日(日)
にオープン記念式典及び
オープニングイベントを
実施いたしました。

一日を通して、延べ2
55名の来館があり、多
くの方々と共にグラ
ンドオープンをお祝いするこ
とができました。



記念式典では、天気にも恵まれ、湊屋町長、石崎教育長をはじめ、改修工事関係者の方々、羅臼町議会議員の皆様、図書館関係団体の方々など、多くの方に見守られながらオープンを迎えることができました。

オープニングイベントでは、パパ's 絵本プロジェクトによる絵本ライ

ブやミニ古本市、ブックラリー、くじびき、記念しおりの配布を行い、子どもから大人まで、来館された方々が思い思いにイベントを楽しんでいる様子が見られました。

今後、羅臼町の読書振興を推進するため、図書館を拠点とした様々な読書活動を実施していきます。



町内幼稚園・小学校にて かもめ号のガイダンス

町内の新入園児と小学1年生を対象に、移動図書館バスかもめ号の利用ガイダンスを実施しました。新しく入学・入園してきた子どもたちに、かもめ号での本の借り方や本の扱い方などを知ってもらう機会として毎年実施しています。

今年度も子どもたちにたくさん本の本との出会いを届けるために、巡回していきます。



春松幼稚園園児が 図書館見学で来館しました

6月18日(火)に春松幼稚園園児12名が図書館見学のため来館しました。

閲覧室や書庫の見学、司書による読み聞かせなどを行いました。書庫の見学では、高い本棚にびっしりと収められている本を見て圧倒されていました。

また自由タイムでは、お気に入りの本を見つけた園児たちが貸出手続きを終えたあと、幼稚園に帰るのを待ちきれず館内で本を読み始める様子も見られました。



もう申し込んだ？
小学生対象！

「本を読んでファイターズを応援しよう！」に参加して

特製シャープペンをゲット、試合観戦のチャンス！

令和2年度から羅臼町図書館も参加し、多くの町内小学生に参加いただいていた「本を読んでファイターズを応援しよう！」キャンペーン。好評につき今年度も参加することが決定しました！

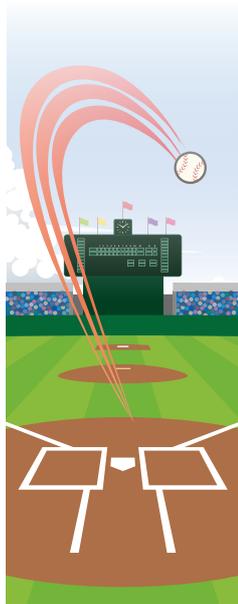
今年度もプログラム完了した児童の中で希望する方を、エスコンフィールドHokkaidoで行われるファイターズの試合へ抽選で招待してもらえとのことですので、この機会にぜひたくさんの本を読んでファイターズを応援してくださいね。

対象となる町内小学生には既に学校を通じてご案内しています。

お申し込み期間は、7月31日まで。直接ファイターズのキャンペーン特設ページへアクセスし、お申し込み下さい。

詳しい内容や申し込み方法は、配付チラシをご確認ください。キャンペーン関連情報は、図書館HPでも確認いただけます。

図書館HPへはこちらから↓



「本を読んでファイターズを応援しよう！」
キャンペーンについて

企画趣旨

幼少期のうちから読書の習慣をつけることは成長してからの学力向上にも大切なことと考え、それを応援するために北海道日本ハムファイターズが平成26年から実施しているキャンペーンのひとつです。

○特製シャープペンを手に入れる・エスコンフィールドHokkaidoのファイターズ戦を観戦するには？
小学1・2年生は10冊、3・4年生は8冊、5・6年生は6冊以上の本を期間中に読み、読書通帳に記入します。記入後の読書通帳を、町の図書館が確認し、プログラムを完了している児童には、特製シャープペンやファイターズ戦観戦申込み等のご案内をいたします。

学習室利用が始まりました

令和6年6月20日より図書館2階多目的室を学習室として開放しています。お気軽にご利用ください。

【開放時間】

平日 午後3時～午後8時
土・日・祝 午前10時～午後5時



※学習室利用のきまりについては、図書館HPをご覧ください。



羅臼町図書館の連絡先が変更となりました

新図書館移転に伴い、図書館の住所、電話番号及びFAX番号が変更となりました。

図書館への問い合わせは、新しい連絡先へお願いいたします。

〒086-1833
目梨郡羅臼町本町71番地12
TEL 85-7171
FAX 85-7172

あしたへつながる防災知識

第46弾

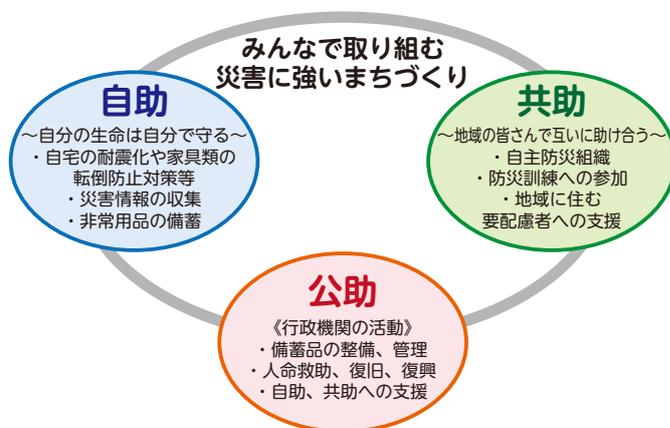
防災訓練の大切さ

防災訓練は、避難場所や避難経路を確認し、有事の混乱の中でも適切な行動をとるための準備活動です。そして、災害の被害を最小限に抑えるためには、自分の生命は自分で守る「自助」・地域で助け合う「共助」・行政の救助・支援の「公助」の3つの取り組みが必要です。大規模な災害が発生した際には、この3つが連携し、一体となることが地域の防災力を高めるポイントとなります。

6月に実施した「令和6年度羅臼町防災訓練」では、平日の日中にもかかわらず、町民の約4人に1人が訓練に参加してくださいました。

この訓練は、地震発生時にどのような対応をとるのか、避難場所はどこにあるのかを毎年1回再確認する機会にもなっています。同じような動きでも、反復することで、いざという時すぐに生命を守る行動に繋げることができます。

訓練中、役場庁舎内では災害対策本部を立ち上げ、関係機関の参集訓練や情報伝達訓練のほか、様々な事案に対して係機関や担当班が臨機応変に行動するための実動訓練などを行いました。



協力関係機関

羅臼町内各町内会、羅臼消防署、中標津警察署羅臼駐在所、羅臼海上保安署、陸上自衛隊標津分屯地第302沿岸監視隊、羅臼漁業協同組合、羅臼町内各教育機関、知床らうす国民健康保険診療所、羅臼鮮魚買受人組合、羅臼町商工会、町内金融機関、福祉関連事業所、町内一般企業、NPO法人羅臼スポーツクラブらいず、環境省羅臼自然保護官事務所、知床財団羅臼地区事業係、根釧東部森林管理署羅臼森林事務所

ご協力いただき、ありがとうございました。



避難場所に避難している様子



羅臼町災害対策本部の様子

◇WEB版ハザードマップをご活用ください◇

WEB版であれば、いざという時にかさばる冊子を持っていなくても避難施設情報等を見ることができます。この機会にぜひ1度チェックしてみてくださいは如何でしょうか。

WEB版ハザードマップ QRコード→



【お問合せ先：総務課防災担当 TEL87-2111】

わたしたちが地域おこし協力隊です

「羅臼のときめき@深海魚」

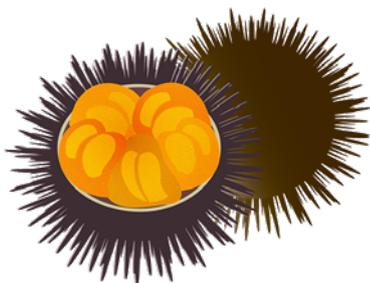
小さい頃、川や海や水たまりなど水の中をじっと見るのが好きでした。今でも羅臼川の近くを通ると、何かいないかなあとつい覗いてしまいます。ある日、深層水取水施設のポンプで深海魚と一緒に汲みあがったと聞き、特別に見学させてもらいました。配管の中を覗くと、ゆらゆら動くピンク色の魚が（後に調べるとイサゴビクニンでした）。思わず叫びつつ目が離せない！暗くすると星のように青く光るプランクトンも。別の日にはアクアマリン福島の職員さんに専用水槽を案内いただき、羅臼で採れたセンジュナマコやニュードウカジカ等を見せていただきました。見慣れない生き物を前にじっくり見たい好奇心が高まりますが、仕事なので我慢😅沢山の新種が見つまっているロマンあふれる羅臼の深海は、とても面白くてわくわくします。みなさんがわくわくする瞬間は何ですか？😊



（産業創生課地域おこし協力隊：新倉）

「ウニを両親に送った話」

私は羅臼に来るまでウニが苦手でした。食わず嫌いなところは確かにあったのですが…それでも羅臼に来てエゾバフンウニを口にして、以来大好きになったのですが、そんな羅臼のウニを両親にも食べてもらいたく、先日、折ウニと塩水ウニを送りました。「こんなウニ食べたことがない！こりゃ他のウニは食べられなくなるわ！」と言っていました！これから昆布、カラフトマスやサケの時季が始まりますが、日本一な羅臼の食をこれまで以上に魅力的に発信させていただきたいと思っています！そのためにも、広く大きく発信するために、町民の皆様のご協力をいただけますと幸いです。珍しかったり、面白かったり、すごい情報がありましたらぜひ、役場 企画財政課の近藤 雨までご一報ください!!



（企画財政課地域おこし協力隊：近藤）



4月29日(月)

秋の叙勲 瑞宝単光章 田中 好美氏

昭和35年に羅臼村消防団に入団以来、35年余にわたり、地域防災の崇高な使命感のもと、幾多の災害に出動し地域住民の安全確保と被害の軽減に尽力されました。また団員相互の融和を図るとともに後輩団員の指導育成に情熱を注ぐなど、消防団体制の強化に貢献された功績により、瑞宝単光章を受章されました。おめでとうございます。



5月30日(木)

羅臼高校 ごみゼロの日



5月30日(木)の「ごみゼロの日」に合わせて、羅臼高校の有志49名により、羅臼高校から羅臼町役場までの道のりでゴミ拾いが行われました。

この日はあいにくの肌寒い気温でしたが、高校生たちは約一時間かけて歩きながら、道端に落ちていた空き缶やたばこの吸い殻など総量約10kgのゴミを拾い集めました。

羅臼町の市街地区にこれだけの量のゴミが落ちているのは、たいへん残念でなりません。

空き缶一つのポイ捨てでも、不法投棄で立派な犯罪です。世界自然遺産知床羅臼の自然を未来の子供たちへ繋げるためにも、ポイ捨ては絶対にやめましょう。

羅臼高校生のみなさん、ゴミ拾い活動、本当にありがとうございました。



6月1日(土)

知床国立公園60周年記念シンポジウム



斜里町のゆめホール知床を会場に、知床国立公園指定60周年記念シンポジウムが開催されました。

基調講演では、第170回直木賞を授賞された、別海町出身の河崎秋子さんが登壇し、「100年先まで続く人間と自然のありかたを」をテーマに

お話いただきました。

その後、北海道大学大学院農学研究員教授の愛甲哲也さんがファシリテーターを務め、河崎さんのほか、秋葉圭太さん（知床財団）、石井溪人さん（羅臼高校）、森光さん（株式会社ゴールドウイン取締役）、藍屏芳さん（ネイチャーガイド）が登壇し、パネルディスカッション「知床らしさから考える人と自然との距離」が行われ、登壇者それぞれの取り組みや考えなどが紹介され、人と自然の距離について考える機会となりました。

今後も記念イベントは開催されますので、みなさんぜひ参加してみてください。



6月16日(日)

羅臼消防団優勝!! 根室管内消防団員技能競技訓練大会

根室管内の消防力の強化と消防団活性化事業の一環として、消防活動における技能技術の向上および体力錬成ならびに消防団相互の団結と親睦を図り安全な地域社会づくりに寄与することを目的に、根室管内消防団員技能競技訓練大会が開催されました。今年度は6月16日(日)に標津町標津消防署前で開催され、1市4町の各消防団から選抜された団員が参加し、日頃の訓練成果を競い合いました。羅臼消防団は、特に小型ポンプによる放水競技において優秀な成績をおさめることができ、他3つの競技での総合得点から6年ぶりの優勝となりました。



7月4日(木)

むし歯のない子の表彰式

幼稚園の歯科健診で、むし歯のなかった子の表彰式が行われました。

今年度、むし歯のない年長のお子さんは11人でした。これから生えてくる大人の歯も健康に保っていきましょう。



令和6年度 年長さんで むし歯のなかったお子さん

| | | |
|-------|------------|-------------|
| 峯 浜 町 | ハラダ 原田 | カイ 權さん |
| 春 日 町 | ナガイ 永井 | ミイ 美衣さん |
| 八木浜町 | モテギ 茂木 | シオン 詩恩さん |
| | モテギ 茂木 | シカ 詩迦さん |
| 知 昭 町 | サトウ 佐藤 | リンカ 凜華さん |
| 礼 文 町 | ハマヤ 濱屋 | サツキ 颯希さん |
| 栄 町 | アダチ 安達 | ヒマリ 向葵さん |
| | シマザキ 島崎 | るかさん |
| 船 見 町 | モリタ 森田 | ナギ 渚さん |
| 海 岸 町 | シラトリ 白取 | チヒロ 知弘さん |
| | ヨシダ 吉田 | スイ 翠さん |

TAXコラム

(税務担当通信)



「町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？」

令和6年度分の町税及び国保税の第1期分の納税はお済みですか？

納期限を過ぎて納税した場合、遅れた日数に応じて延滞金が増加される場合がありますので、納付がお済みでない方は至急納税するようお願いいたします。

また納期内納税できない方は、分割納税など納税相談も行っておりますのでご相談ください。

「町・道民税は特別徴収が便利です！」

根室振興局と羅臼町では、従業員の利便性向上と税負担の公平を図るため、特別徴収の拡大に向けた取り組みを進めています。

町・道民税の特別徴収とは

町・道民税の特別徴収とは、事業主が、所得税の源泉徴収と同様に、納税義務者である従業員に代わって毎月支払う給与から町・道民税を徴収し、役場に納入していただく制度です。所得税のように税額計算等をする必要がありませんし、従業員の方々にも様々なメリットがありますので、特別徴収を未実施の事業主の方は、特別徴収への切替えをお願いいたします。

従業員の方々のメリット

- ・1年分の納税が12回に分けられ、普通徴収（年4回）に比べて納めやすくなります。
- ・金融機関や役場窓口等へ納税に出向く手間がかかりません。
- ・毎月の給与から天引きされますので納め忘れがなく、滞納や納税証明が発行できないことを防ぐことができます。

【7・8月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 7月28日(日)、8月25日(日) 午前9時～午後5時まで
 〈夜間窓口〉 7月31日(水)、8月30日(金) 午後7時まで

【お問合せ先：町民環境課 税務担当 TEL87-2113】



羅臼町 ゼロカーボン通信 vol.7

ゼロカーボンシティ（脱炭素社会）の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。日常生活の中で脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを、8つのカテゴリーに分け「ゼロカーボンアクション30」として整理しています。

今回は7個目のカテゴリーを紹介していきます。

CO2の少ない製品・サービスを選ぼう！

このカテゴリーでは製品に関して、2つのアクションが整理されています。

中でも、『脱炭素型の製品・サービスの選択』は、環境配慮マークのついた商品やCO2排出量が見える化している商品を選択することで、脱炭素に向けた取り組みに参加することにもなります。

また、環境に配慮する企業を応援することになりますので、結果的に環境に配慮された商品の多様化、価格低減にもつながります。

今回は、「環境保全活動に積極的に参加しよう！」をご紹介します。



「ゼロカーボンアクション30」の詳しい取り組みは、記載のURLかQRコードよりご確認ください。
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>



ヒグマの対応状況をお知らせします



ヒグマの鼻は犬の数倍の能力があり、遠くの食べ物の匂いも感知して近づきます。

ヒグマの対応・出没状況、捕獲状況や対策などの情報を2ヶ月毎にお伝えしています。

5月、6月に入って、ヒグマの対応が増えてきました。人の活動域に近づくようなクマを生み出さないよう、みなさまの日ごろからのご協力をよろしくお願ひします。

5月、6月のヒグマ対応状況

◆対応件数79件（前年度69件）

- ◇八木浜町の国道を海側へ横断したため、現地対応したが、再度国道を横断して山側へ逃走。
- ◇峯浜町の郷土資料館付近の住宅近くの道路をクマが歩いていた。

5月、6月のヒグマ駆除状況

◆駆除2件2頭を駆除（前年度5件5頭）

- ◇海岸町の天狗岩付近で、住宅裏にいて逃げなかったため5月3日に駆除。
- ◇知床横断道路でたびたび目撃のあった個体を6月18日に駆除。

クマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などクマが届かない場所に干す、ごみは収集時間の直前に出すなど、みなさんのご協力をお願いします。
- クマの目撃や被害の連絡が無かったり遅れたりすると、クマの対応も適切に実施できず遅れることとなります。極力速やかな役場への連絡をお願いします。

24時間対応

ヒグマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見した際は、産業創生課(Tel: 87-2126)までご連絡ください。

令和6年度 第2回

北海道警察官 採用試験の受験者募集

【受付期間】 7月1日(月)～8月16日(金)

【1次試験日】 9月22日(日)

【募集年齢】

A・B区分とも平成4年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた方

【受付方法】

原則、北海道電子自治体共同システムによる電子申請となります

【試験地】

中標津警察署を含む全道22か所及び青森、東京

問合せ・受験案内配布先

中標津警察署 警務課
Tel 0153-72-0110



北海道警察採用案内ホームページ→

札幌・東京らうす会員を募集しています！

『札幌らうす会』『東京らうす会』は、各地域に住む羅臼町出身者や羅臼町を応援していただける方で構成された会で、生まれ育った羅臼町を応援したい、羅臼の方々と交流を図りたいとの思いから、各イベントでのPR活動や交流会など様々な活動に取り組まれています。

皆様のご家族やご友人で札幌・東京近郊にお住いの方がいらっしゃいましたらぜひ紹介いただき羅臼を応援する『らうす会』の輪を広げていただけませんか。

また両会と連携する地元の組織として『故郷らうす協会』も広報の送付や各会の総会へ参加し、交流・情報交換などの活動をしています。

《お問い合わせ先》

- 札幌らうす会事務局 sapporo_rausukai@yahoo.co.jp
- 東京らうす会事務局 rausu@tokyo-rausu.jp
- 故郷らうす協会事務局 産業創生課 TEL:0153-87-2126

おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)



町長室



自然保護と海の安全

みなさんも新聞紙上でご存じのことと思いますが、知床岬周辺の携帯エリアを確保するために進められていた国主導の事業が、自然保護や景観、生態系への影響を心配する意見が寄せられたことで中断しております。この事業は、当初から知床の自然環境に配慮して進めることが、大前提でありました。

この事業のきっかけとなったのは、2年ちょっと前に半島の北側でおきた痛ましい事故がきっかけです。羅臼町でもいろいろな意見がありますが、自然保護と漁業者や観光客の安全や命の問題を議論するにあたっては、漁業を基幹産業とする羅臼町長として、町民である漁業従事者が安心して生産活動ができるようにすることが使命だと思っています。この件について私の考えを羅臼町のホームページに詳しく掲載しております。スマホでも見られますので是非ご覧ください。



知床岬携帯基地局整備についての町長の考え

寄附・寄贈ありがとうございました

企業版ふるさと納税

【若い世代が安心して働ける魅力ある産業の振興事業】

税理士法人オーレンス税務事務所 様

(令和6年5月11日～7月10日受付分掲載)

人の動き

令和6年6月末現在 ()内は令和6年5月末対比

人口 4,287人 (- 7) 男 2,162人 (- 2)
世帯 1,997世帯 (± 0) 女 2,125人 (- 5)

◆表紙：羅臼町図書館 オープン！

耐震性の不足に伴う旧公民館の取り壊しを受け、役場のロビーで運営されていた図書館ですが、道の駅の駐車場に隣接する元金融機関の建物を改修し6月2日(日)に正式オープンしました。約3万7千冊の本が所蔵され、2階には読み聞かせなどを行う多目的室や親子で本を楽しむことのできる小上がりスペースなどが整備されています。

読書が好きの方も、あまり本を読まない方も、これを機に新しくなった羅臼町図書館で本を読んでみませんか？

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町



■広報らうす 令和6年7月号

編集／羅臼町 企画財政課 企画財政係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>